一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和４年　理事会議事録（第３回）

開催日時:2022 年 8 月 12 日(金)19:00 ～21:25
開催場所:宇都宮市茂原一丁目 1021 番地 7 (ZOOM 配信)
出席理事:仲田、坂田、渡邉、須藤、松川、寺尾(代理)、和久井、板倉、野尻(代理)、有馬、高村
全理事 14 名中、11 名出席　(全員ウェブ会議システムによる出席)
出席監事:なし (全員ウェブ会議システムによる出席)
欠席:岩瀬、友利、山口、横山、松崎、谷口、黒渕

順不同、敬称略

議案
会長挨拶
本日の理事会はウェブ会議システム(ZOOM)を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

Ⅰ.報告事項
【会長】
①会長職務執行状況報告について（令和 4 年 4 月～7 月）
会議出席：47 都道府県委員会運営委員会（4／18、6／6、7／11）
特設委員会研修会検討委員会（5／12）
常設委員会災害リハビリテーション対策委員会（6／3）
栃木 JRAT 代表者会議（7／19）
栃木県指定自動車教習所協会　細波勝也氏との顔合わせ（4／18）
2022 年度日本作業療法士協会定時社員総会出席（5／28）
第 1 回 47 都道府県委員会出席（6／11）
栃木県作業療法士会新人オリエンテーション参加（6／19）
税理士事務所での打ち合わせ相談（7／15）
②第 2 回 47 都道府県委員会について
新型コロナ感染症感染拡大のため、対面会議からオンライン会議へ変更となった
9／10（土）1 日のみの開催となる　9:00～15:30
オブザーバー参加者：横山副会長、和久井理事
【副会長】
③栃木県脳卒中・心血管疾患対策協議会委員について
令和 4 年度～令和 5 年 6 月 30 日迄の推薦依頼あり。仲田会長と協議の結果、継続委託で横山副会長となった。
【事務局総務部】
④共催依頼について
第 7 回北関東信越ブロック学会及び第 24 回群馬県作業療法学会の共催依頼あり承諾した。
【事務局会員管理部】
⑤会員管理および会費納入状況について　（8 月 5 日時点）
会員数 ： 806 名
未入会 ： 3 名　　協会員だが士会非加入者 ： 15 名　　士会員だが協会非加入者 ： 10 名
入会者 ： 56 名（ 新規 47 名、再入会 9 名 ）　　退会者 ： 6 名　　強制退会者 ： 20 名
会費納入状況 ： 令和 3 年度分　　1 名　（ 8,000 円 ）
令和 4 年度分　471 名　（ 3,760,000 円）
領収書 ： 467 名分発行
旧口座への誤振込 ： 会員管理部　年会費用口座へ移動、領収証発行済
⑥プライバシーポリシーについて
県士会 HP 掲載用の文書作成し、広報部へ依頼中
⑦会員管理システム 2 台目について
パソコン購入し、協会へ 2 台目利用申請書等の書類を提出済。承認が得られ次第、パソコンを送付予定。
【事務局財務部】
⑧講師謝金規定について
前回の理事会で区分 B②(11,500 円／時)に関しては 5 分 960 円換算とすることで決定したが、その他の区分についてもそれに倣って換算した。（別紙参照）
【地域リハビリテーション推進部】

⑨会議について

6/15：訪問リハビリ推進部門会議　部員８名
7/05：第一回県北ブロック会議　　支部長・副支部長 13 名
7/07：第一回県南ブロック会議　　支部長・副支部長９名
7/12：第一回県央ブロック会議　　支部長・副支部長８名
8/03：日本作業療法士協会地域包括ケアシステム委員会関東ブロック会議　(添付資料参照)
久米副理事・寺田部門長・菊池ブロック長３名参加（+委員として有馬）

⑩研修について

7/19：訪問リハビリ顔合わせ交流会　参加者 17 名
・訪問リハ地域リーダー会議の報告
・訪問リハの各施設案内
・交流会

⑪栃木県地域支援事業の進行状況に関するアンケートについて

日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会にて推奨している奈良県士会モデルをベースにアンケートを実施（添付資料参照）→R4.6 時点で県内 18/25 市町（約７割）にて作業療法士が参画している。

【教育部】

⑫研修会開催報告について

1）学生指導・新人教育　意見交換会
日　時：令和４年７月８日（金）　19 時～20 時 30 分
講　師：野尻真生氏（マロニエ医療福祉専門学校）
参加者：5 名

2）現職者選択研修：「発達障害領域」
日　時：令和４年７月 12 日（日）　9 時 20～
講　師：関森英伸氏（国際医療福祉大学）
玉野彩氏（自治医科大学付属病院）
石塚有美氏（県立とちぎリハビリテーションセンター）
参加者：19 名（内：他士会　７名）
※他士会員振込対応

3）現職者共通研修：「生涯教育概論」、「作業療法の可能性」、「保健・医療・福祉と地域支援」
日　時：令和４年７月 24 日（日）9：30～14：40
講　師：「生涯教育概論」　：渡邉真一氏　（白澤病院）
「作業療法の可能性」　：大橋由美子氏（マロニエ医療福祉専門学校）
「保険・医療・福祉と地域支援」：大河内智弘氏（介護老人保健施設かさね）
参加者：「生涯教育概論」　：26 名
「作業療法の可能性」　：27 名
「保険・医療・福祉と地域支援」：24 名

4）MTDLP 基礎研修
日　時：令和４年７月 31 日（日）9：00～17：00
講　師：池澤俊光氏（さつきホームクリニック）
参加者：31 名

5）第１回臨床実習指導者講習会（於　マロニエ医療福祉専門学校）
日　時：令和４年８月６日（土）9：20～18：50
７日（日）8：45～16：05
参加者：42 名（内：非会員６名）
※県士会員１名振込対応

【学術部】

⑬研修会について

実施報告

1）第１回精神障害分野
日　時：令和４年６月 18 日（土）9：30～11：:00
テーマ：児童精神科における作業療法の実践
講　師：松坂伸行氏、黒崎晴菜氏（青木病院：作業療法士）
参加者：24 名

2）第１回発達障害分野
日　時：令和４年８月１日（月）19：00～21：00
テーマ：届けたい教育を家庭と学校と地域でデザインする～学校作業療法の取り組み～
講　師：仲間知穂氏（YUIMAWARU 株式会社：作業療法士）

参加者：33 名
実施予定
1）第 1 回老年期障害分野
日　時：令和 4 年 8 月 25 日（木）
テーマ：身障–老年期障害領域　領域横断研修会
作業療法士が提供できる・期待される心臓リハビリテーション～地域在住者への対応～
講　師：水上美穂氏（さつきホームクリニック：慢性心不全看護認定看護師）
2）第 1 回全領域対象
日　時：令和 4 年 9 月 20 日（火）
テーマ：えんがおを通して考える地域包括ケアシステム～作業療法士が地域でできること～
講　師：濱野将行氏（一般社団法人えんがお：作業療法士）
有馬正人氏（曙訪問看護ステーション：作業療法士）
その他：ZOOM と合わせてオンデマンド配信を予定

【事業部】

⑭全国障害者スポーツ大会について

1）7/3 事前研修開催の報告
研修会：「テーピング演習」
日　時：令和 4 年 7 月 3 日(日)　13 時～15 時
場　所：朝日病院体育館
講　師：井川達也　氏（国際医療福祉大学理学療法学科講師）
参加者：15 名
※研修会後、事業部会議を実施。今後、マッサージに関する演習について実施を検討。
2）7/13 コンディショニングルーム運営会議への出席（オンライン）：事業部員 3 名

⑮事業部の最新状況について

→広報部へ HP 掲載依頼
・栃木産業保健総合支援センター、産業保健専門職（保健師）より「仕事と治療の両立支援」について団体向け啓発セミナーを実施している旨情報提供あり。治療を継続する方の復職支援に向け、リハの情報を職場に伝える事も重要となるため、士会でセミナーを検討していきたい。
→学術部と検討し、来年 2 月頃に実施予定。

【広報部】

⑯県士会 HP の掲載内容について

・プライバシーポリシーの掲載、新人オリエンテーションのスライドの掲載を進める。
・組織の変更を適宜修正している。

【福利厚生部】

⑰新人 OT オンラインオリエンテーションについて

日時：6/19（日）10：30～11：30 に実施。
講師：仲田会長、坂田事務局長
参加者：5 名

⑱新入会員への記念品について

バインダー80 冊発注済み。

【住宅改修・福祉用具委員会】

⑲会議について

第 2 回委員会開催　7/20（水）18:30～20:25（次回 9 月末予定）

⑳研修会について

今年度は研修会を 3 回実施予定している。
1）第 1 回研修会「拘縮治療×スプリントセミナー」
講師：飯塚裕介氏、須藤誠氏
日時：7 月 10 日
参加者：11 名
2）第 2 回研修会「自助具セミナー＋意見交換会」
開催予定日：9～10 月
3）第 3 回研修会「福祉用具・住宅改修セミナー」
開催予定日：12 月上旬

㉑ 第 17 回自助具コンテストについて

・作品の募集期間は 8/1～9/30
・県学会で表彰予定している。

【 災害リハビリテーション対策委員会】

㉒ 委員会開催報告について

第 2 回委員会開催　8/4（木）19：00～20：10（次回 9/21 予定）

・連絡網の整備：8 月中に各施設へメール配信予定

・災害ボランティア登録者について：現時点で新規登録者 1 名。今後、県士会記念誌と共にボランティア募集のチラシを配布予定（学会誌にも同封予定）

・ホームページについて：動画など取り入れ啓発活動に力を入れる予定である。

㉓ 2022 年度災害発生を想定した訓練について

日本作業療法士協会災害対策室より安否確認シミュレーション訓練がある

訓練実施日：9/25　AM11 時ごろ開始

対象：マメール登録者

【記念誌作成準備委員会】

㉔ 印刷会社の選定について

→委員で検討した結果、藤崎印刷（宇都宮市）に決定。

・デザイン及び校正の打ち合わせを重ね、8 月 26 日に納品される予定。

・9 月上旬には総会議事録と併せ各施設に郵送する予定。

・予算 220,000 円をこえるため、下記の通り補正予算を組んで対応する。

・記念誌見積額 242,000 円 ＋ 会議費 13,000 円 ＝ 255,000 円　　差額 35,000 円分

【第 12 回栃木県作業療法学会実行委員会】

㉕ 学会について

・対面開催→オンライン開催へ変更となった。

・学会ポスター完成（別紙）

・演題数 11 題（口述 5 題、ポスター3 題、未定 3 題）

【とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会・準備委員会】

㉖ 令和 4 年度活動について

・実行委員会の活動はなし。準備委員会は令和 5 年 5 月の第 23 回開催に向け、今年度 6 回の会議を予定。

Ⅱ.審議事項

【会長】

①会計システムの導入について

1）TKC 担当者からシステムおよびコストについての説明

2）1）を踏まえて、導入可否について審議いただきたい

→継続　今後の導入に向けて、前向きに検討していく

②士会の倫理に関する体制整備について

・倫理問題フローチャートの見直しおよび倫理問題に関する規定の策定に向けて、総務部倫理部門を中心に『倫理体制整備 WG』を立ち上げ、活動を開始したい

・WG メンバーとして、第 1 回 47 都道府県委員会に参加された理事（友利・須藤・渡邉・横山・仲田）＋松崎監事（前倫理委員会委員長）を招集したいがいかがか？

→承認　上記メンバーで活動を開始していく。総務部の会議費として補正予算を組んで対応する。

③ 第 13 回栃木県作業療法学会の学会長選出について

2023 年度の第 13 回は県北ブロック担当、第 8 回北関東信越ブロック学会の主催県となる

学会長候補者：関森英伸氏（第 1 回事務局）

渡邉清美氏（第 4 回事務局）

白砂寛基氏（第 7 回実行委員長）　＊現在他県士会？

小川昌宏氏（第 7 回事務局）

関　優樹氏（第 7 回事務局）

熊倉万実子氏（第 10 回実行委員長）

野崎智仁氏（第 10 回事務局）

→渡邉清美氏、関森英伸氏、野崎智仁氏の順に会長より依頼をしていく。

【副会長】

④会長に会長采配の活動費の予算化について

現在まで会長が単独又は任意の賛同者と士会の為の活動をした際は無償である。今後も不定期、かつ突発的な活動の必要性は否めない。近々では、次期の役員改選に向けての協議や組織改変に向けての協議、協会から降りてくる活動の詳細伝達と活動についての協議等々と少なくない。それらの協議に参加する会員も無償なのはいかがなものか。会員の士会活動への参加の促進の意味でも予算化の必要性はあると考える。

具体的な会計の処理については、本年度は試行的な意味合いで、財務部　松川部長に管理して頂くのが現実的かと考える。会長から活動報告を受けて、松川部長が会計業務をする流れである。単独の口座は当てない。本年度は今後の活動から計上するとし、補正予算を組むのはいかがか？

→承認
会長のみの活動であれば、「会長活動費」として予算化していく。
会長に参同する会員の予算は、横山副会長と松川財務担当理事で検討していく。

【学術部】

⑤県士会 HP の研修会のお知らせについて（士会主催に限り）

・広報強化を目的にダウンロード形式に変更は可能か。士会員所属施設にてダウンロード⇒コピー⇒掲示と広報強化となるのではないか。
→現在、広報部で調整中。
・今後、全領域対象研修のオンデマンド配信を予定している。オンデマンドを HP に掲載することは可能か。
→広報部で掲載方法の確認をしていく。今後、学術部と広報部で検討していく。

【第 12 回栃木県作業療法学会実行委員会】

⑥学会について

・オンライン開催となったため Zoom の人数制限を拡大する契約を 11 月だけお願いしたい。
→承認　100 名を超える参加見込みがある場合、事務局まで連絡する。
・学会当日（11/20）は士会 Zoom アカウントを 2 つとも学会で使用させていただきたい。
→承認